



平成三十年一月二十六日金から三月十八日  
日曜日休館（祝日と重なれば翌平日）二月四日は閉入館日  
開館時間 午前九時から午後四時三十分 入館は四時まで

主催・独立行政法人国立文化財機構

奈良文化財研究所飛鳥資料館

奈良県立橿原考古学研究所・明日香村教育委員会

後援・文化庁・近畿日本鉄道株式会社

■入館料 一般・個人一七〇円・団体一七〇円

大学生一三〇円・団体六〇円

高校生及び十八歳未満・六十五歳以上

（年齢のわかるものが必要）は無料

■交通 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅からかめバス（周

遊）「飛鳥資料館」または近鉄・JR桜井駅  
から右舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

の	鳥	飛
学	古	考
記	01	07

■飛鳥資料館平成29年度・冬期企画展

飛鳥資料館

<http://www.nara.go.jp/birds/>



飛鳥資料館 〒840-0292 奈良県橿原市神宮前3丁目1-1  
TEL 074-222-1111 FAX 074-222-1112

# 飛鳥の考古学 2017

飛鳥地域では、近年も継続的な発掘調査が続いています。小山田遺跡は、2016年度までの調査で古墳であることが確定し、牽牛子塚古墳では築造に際し、周辺の山を削り、谷を埋め立てるなど、大規模な土木工事を行っていたことがわかりました。「槻樹の広場」があったと考えられている飛鳥寺西方遺跡では、石組溝や石列、掘立柱建物など多くの遺構が見つかり、遺跡南部の土地利用のあり方が明らかとなりました。飛鳥寺西方遺跡の南に位置する飛鳥京跡苑池では、南池の東側で門や建物が確認され、池に付属する施設の様相が徐々に判明しつつあります。

また、藤原宮跡では、大極殿院内庭の調査で大極殿南面の階段が確認され、朝堂院朝庭の調査で、大宝元年(701)の元日朝賀の際に幢幡を立てたとみられる柱穴が見つかるなど、大きな成果が挙がっています。さらに、藤原京右京九条二・三坊で行われた調査では、藤原京期の遺構の下から、弥生時代終わりの大型円形周溝墓が発見され、前方後円墳の成立過程を考える上で新たな資料が加わりました。

今回の展示では、これらの遺跡を中心に、2015・2016年度に飛鳥藤原地域で行われた発掘調査の成果を紹介します。この冬は、発掘調査が明らかにした飛鳥の新発見をぜひお楽しみください。



飛鳥寺西方遺跡で確認された石敷や建物跡 南西から



飛鳥京跡苑池南池の東側で見つかった石列や建物跡 南西から



牽牛子塚古墳で見つかった版築による盛土 北東から



藤原宮朝堂院朝庭における幢幡配置の復元 南から

開館時間：午前9時から午後4時30分 入館は午後4時まで  
月曜日休館(祝日と重なれば翌日)

入館料：一般 個人 270円 大学生 個人 130円  
          団体 170円                    団体 60円  
高校生及び18才未満、65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

交通：近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から かめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車  
または近鉄・JR桜井駅から 石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車  
近鉄大和八木駅から(土・日・祝日のみ)橿原市コミュニティバスで  
「飛鳥資料館」下車

駐車場：無料 普通車11台分(都合により閉鎖の場合あり) 近くに有料駐車場あり

奈良文化財研究所

**飛鳥資料館**

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601  
Tel: 0744-54-3561 Fax: 0744-54-3563

飛鳥資料館 検索 <http://www.nabunken.go.jp/asuka/>

